

林檎

岩手Mac友の会

Vol.13, No.1 2001.5.26

Iwate Macintosh Funclub



Get PowerBook G4 or iBook? that is the question!

新製品ラッシュ

最近のアップルは元気です！
登場が噂されていた新型ノート PowerBook G4 は、POWER PC G4 プロセッサを搭載し、外装をチタニウム（英語的に発音すると「たいてい にうむ」とか）の無垢？なデザインで颯爽と登場しました。

そのデザインと大きな画面、そして筐体の薄さはMacファンのみならず、新鮮な驚きを与える十分だったのではないのでしょうか。

従来のPowerBook G3もデスクトップを凌駕する性能を誇っていましたが、PowerBook G4もその路線を継承しています。

確かに性能が良く、デザインもスッキリした薄型になり、軽量化が計られ、ディスプレイも大きくなったのですが、横の長さが大きくなり、PowerBook 2400の後継機を期待していた人たちの中には落胆していた人も見受けられました。

ところが.....

PowerBook G4 登場の興奮が冷めやらないうちに新しいiBookが発表されました。従来のカラフルで凝ったデザインから路線変更とも思われる直線的なデザインの筐体はPB2400とはほぼ同じ位の大きさで、厚さは液晶部分を取った位、薄くなりました。白いポリカーボネート製のボ

ディは開発コードのマーブルを彷彿させる。

外部ディスプレイ接続ポート（コンポジットではなくRGB）が付いてプロジェクタ等の接続性が向上し、モデムとEtherのポートが両方付いているので、モバイルでは何も不自由は無いでしょう。

さらにiBookの性能向上版が出るとの噂も有って「どちらを買うか？何時買うか？」ユーザを悩ませる材料に事を欠きません。

ソフトウェアでもMacOS Xが登場して間もなく、そのアップデートが提供され最近ではQuickTime 5日本語版も提供され、追い付くのが大変です。

thinkfree Mac版

Microsoft-Office互換のフリー？ソフトとして登場したthinkfree officeはWindows版のみが提供されていましたが、やっとMac版が提供されたので、早速ダウンロードして使ってみました。iDiskのようなデスクスペースも提供していて面白い試みだと思います。完全互換とは言えないものの、試してみる価値はあります。



総会にむけて

一年が経つのが早く感じるようになったのは歳のせいでしょうか？もう総会の時期が来ました。昨年同様一ヶ月遅れとなりましたが、今年は4月の第4土曜日がゴールデン・ウィークの初日と重なったため意図的に5月開催にしました。

最近米国のアクティブなユーザグループから当会のホームページを経由してメールが来ました。これを良い切っ掛けとして活動に活気を入れたいと思います。

総会で皆さんとお会いできることを楽しみにすると同時に、会員の皆さんの積極的な活動への賛歌を期待しています。



Inside

つれづれMac (2001春) -----	2
私のMac Life -----	4
家庭でも無線LANを はじめよう -----	6
電力線でネットワーク -----	7
私のPDAライフ -----	8
リサイクルしてはいけない ---	9
林檎ギャラリー -----	10
編集後記 -----	11
会員名簿 -----	11
掲示板 -----	12

つれづれMac

【2001春】

藤原友行

ナハハ、ついにチタニウム
を手に入れたぞ！



カラカラ言う 登山用のマグカップ
だけど。

MACWORLDエキスポ東京2001
...というわけで、東京は通路が自動
で動くんぞ！

という前々回のネタをまた、振りま
わしたりして(^_^)

今回も凸凸トリオだったが、
ちょっと変則的な形で出発した。
つまり2月22日10時のステー
ブ・ジョブスの基調講演を聞くた
めには前日の出発でないと間に合
わなかった。

21日午後4時頃に先に着いている
白石さんを秋葉原でつかまえて合
流。またまた文明の利器の有難さ
を思った。この携帯電話、今回も大
活躍となった。

さて、到着するなり恒例の秋葉原
巡り。Macの解体部品や拡張カード
など見て回ったが、全般に価格が安
くなっている。やっぱりiMacがあ
の価格だと周辺機器メーカーもや
りにくそう、昨年暮れにニューワー
テクノロジーとインターウェアが、倒
産したのが残念だ。しかし旧型の
Macを拡張したいときなどは今が
チャンス、HDDも大容量でリーズ
ナブル、G3、G4の拡張カードもずい
ぶん低価格になっている。
宿は、長土居さんに手配していただ

いた品川のプリンスホテル。電車や
宿の手配までまてどうもありがとう
ございました。

翌朝七時にホテルのロビーに集合
し、外で軽く食事をしすぐに会場に
向かった。

八時半に幕張に到着したのだが、す
でに長蛇の列で、「ずいぶん気合い
が入っているなあ、あの人たちはあ
んなにMacに狂っているんだ」と五
十歩百歩の感想。その最後尾に並
ぼうとしたらなかなか最後が出て
なくて最初に見た橋のあたりからず
いぶん後ろに歩かなければならな
かった。やっぱり、五十歩と百歩の
間には大きな違いがある！などと
また訳の分からない感想。

さて、スティーブ・ジョブスの
基調講演を聞くためには、ネットで
事前登録が必要だった。その確認
証書が開催事務局からメールで送
られてきて、それをプリントアウト
したものが事前登録証となるのだ。
凸凸トリオの誰とは言わないが、
それを忘れてしまった某氏は、7
時ごろ携帯電話で会社の田中課長
の自宅に電話をして出勤後の指示
をし、つまりiモードで自分のメ
ールソフトから転送してもらおう
形に落ち着いた。ところが、すんな
りとは目的のメールが着信できず
指示を出すこと数回。アーでもな
いコーデモナイという感じだった
が、とうとうついにやっと着信し
たのがこの写真。iモードのす
ごさを見せてもらった。



ところで、プリントアウトした紙
には登録番号とかはあったのだけ
れど係員にまるで見てもらえな
くて会

場にどんどん入っていった。つま
り何でも良いから紙切れを持ってい
ればKだった。それでもおかげ
であの長い行列に並んでいる間、
次々と高度なiモードのワザを
見せてもらって、退屈しないでと
ても楽しかったです。

いやー今回は全然役には立たな
かったがiモードってすごいで
すう！(^_^)



いよいよ会場内だ。
ゼバスチャン・バツハ様の無
伴奏セロ組曲のサラバンドやブ
ーレなどが突然耳に入ってきた。
とても荘厳でこれから何か始
まる！という期待させる空気が
流れ不思議な空間を演出して
いた。

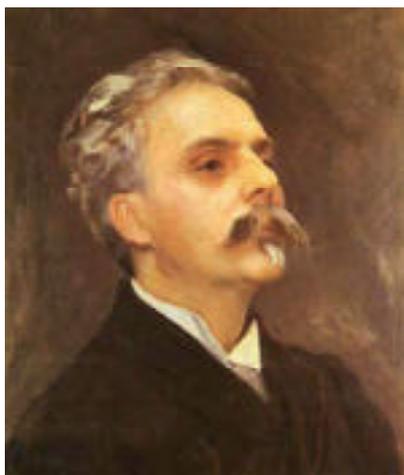
正面右手にはマイルス・デイ
ビス、左手には手塚治虫のポ
ートレイト、中央には銀色に輝
くりんごを表示したスクリーン
が二面。

しばらくしてスティーブ・ジョ
ブスCEが珍しくスーツ姿で登
場。Mac OS Xの開発の進行具
合やそのパ

ワーの話。そしてパブリックベータを改良したFinderの話などが紹介された。特に興味があったのはMac OS Xが搭載する日本語文字の数が「1万7500」であるとのことだ。それが、ポイント数を指定せずに滑らかに拡大や縮小して表示される様子が映し出されたら会場から大きな拍手が沸き起こった。それからMacのこれからのコンセプトは、デジタルハブだということを中心にしたデモなどを行った。

それから新製品の紹介は、パワーMacG4の新機種、G4cubeのCD-R内蔵機種の発表と旧機種の下げの発表、フラワーパワーのiMacの発表、ダルメシアンブルーのiMacの発表などが行われた。

今回の一番のお気に入り、iTunes 1.1j。先日の1.0より数段安定し対応するCD-Rライターも増えた。とのことだがCDを焼く機能は置いてiTunesのすごいのは、音楽のデータベース機能とその再生能力と思う。デフォルトのままの設定で音楽CDを1枚約60MBに圧縮ができ音質は多少軽くなるが我慢できないほどではなく、それよりも保存した音楽データの利用の仕方にいままでにない切口が見えてきた。



G.Fauré 1845-1924

ぼくは、ガブリエル・フォレのメロディをずっと愛聴してきた。初めて聴いたのは日本人もずいぶんお弟

さんのいるカミーユ・モラーヌのレコード。そのアナログの音源からCDに変換して一曲、一曲タイトルをいれてiTunesに登録しておいた。それとアンネ・ゾフィー・オッターのフォレのメロディ。これは、インターネットのCDDに登録されており、曲名を入れる手間が省けた。また、バーバラ・ヘンドリックスの演奏会をNHK FM放送から録音した「ラ・ボンヌ・シャンソン」。アメリカのフレデリカ・フォン・シュターデ、それと大御所のジェラルド・スゼーのもの。シャルル・パンゼラの全盛期の頃のSPレコードや1951年録音のLPレコードから収録したものなど、iTunesに登録することによりデータベースができ上がり曲名や演奏者別の並び替えがクリック操作ででき、同じ曲の演奏者を違えての聴き比べがすぐにできる。すばらしい！

計算してみると20GBのHDDをiTunes用にとすると約300枚のCDが収録できる。これだけあればだいたいふだん聴きたいものが入ってしまう。フラワーパワーやダルメシアンブルーのiMacはコンピュータとしての他にジュークボックスと考えるととても素晴らしいものに思えてしまう。先日(3月下旬) S-X用のiTunes 1.1が公開された。早速試してみたらちょっとデータベースの表示が遅くなったのが気になったが、とりあえず使える。このためにだけ今度のiMacがあっても悪くない考えた。[注] 5月1日にソフトウェアアップデートでiTunes 1.1.1とMac OS X 10.0.2 Updateが配付され若干動きが滑らかになった。

さて、Macとオーディオとの接続インターフェイスだがUSBを通じて行える製品がローランドやオンキヨー、ヤマハなどから発売されているようで、ぼくが試したのはローランド製。D/Aコンバーター、A/Dコンバーターが内蔵されており、アナログ出力をオーディオのライン入力に接続して使った。オリジナルのCD



と比べなければとても十分のサイズの圧縮した音とは考えられないほどの音だ。

残念なことは、5月3日現在Mac OS Xに対応しておらずUSBポートから認識できなくなってしまうこと、しかしそのうち解決するだろう。ともかくもiTunesは、音楽好きなぼくにはなくてはならないものとなってしまった。

ところでアナログの音源のデジタル化は、とても簡単で、CD-Rのライティングソフト「Toast Deluxe」に付属している「CDSpinDoctor」を使ってみた。ローランドの製品に付属してきたものもあるが機能がたくさんありマニュアルもあるが思わず引いてしまった。詳しく読まなくても理解ができた「CDSpinDoctor」が好き(^^)

それにしてもいつか手に入れたいと思っていたHDDレコーダーを気がつかないうちに持っていたことになる。しかもそれは簡単に持ち運びの出来るPowerBookだった。もっと早くに「CDSpinDoctor」を使っていたらDATからの編集が楽だったと思う。アナログとデジタルのつまりA/D変換の機能があることは知っていたのだがPowerBookがこんなに音が良いとは知らなかった。iTunesのおかげで気づかされた。

MACWORLDエキスポの話題からだいぶそれてしまったが、今回いちばん気に入った部分を書いてみた。それじゃ。

2001年5月3日

mail : tomoyukif@mac.com



私の Mac life

佐々木 明宏
(ファブリック)



ファブリックの佐々木です。

マルチメディアは死語になったと一部でいわれておりますが、まさにコンテンツ制作やソフトウェア開発を主な仕事にしています。機会があれば子ども向けの環境教育ソフト「ハルくんの部屋Vol.4」をぜひご覧下さい。

ちょうどWWDC2001にサンノゼに来ており、この原稿を書いています。



サンノゼは2回目で、5月だというのにすっかり夏の日差しです。乾いた風が気持ちよくて、前に来た時もこれはどこかで吹いていた風だなと何度も思ったのですが、夏の夕暮れのプール帰りの風に似ていることに今日ふと気がつきました。それと、何かなこれは、といつも思うのですが、植物の匂いでオイルの香りに似た、割と好きなどこか懐かしい匂いがします。

会社やろうぜ

早いものでIMFに入会してから10年が経ちました。当時はファブリックを有限会社として設立する前でした。当初はパンクスの集まりのようなバンド感覚で会社を始めました。資金ゼロ信用ゼロでスタートしたのですが、国民金融公庫の担当者が理解ある方で融資にGOをしてもらい、SE/30とLaserWriterNTX-Jを購入して、さらに現物出資という形で資本

金に組み入れました。

仕事も融資も組織ではなく個人です。人がすべての可能性を握っています。うちの会社もメンバーチェンジがあり、現在第III期というところ です。

今から考えると夢のような話ですが、Mac1台とレーザープリンタで200万円近い投資でした。(高橋晃さんのMacIIのローンの話はそれ以上です。)その頃からのMacユーザは

ポルシェを買えるくらい注ぎ込んでいるのではないのでしょうか。

この白黒のSE/30でIllustrator1.1から始め、1.9.6でカラーの仕事をしていました。Photoshopはその前身のDigital Darkroomからフル活躍です。

実にIMFのメンバーの方々にはこの10年間ずっとお世話になっております。私は、結局Macというキカイよりもそれを触っている人間の方がはるかに面白いと思っています。

たまに会社勤めの方からグチを聞くことがありますが、現状を嘆くのであれば、とにかく独立する計画で仕事をすると良いと思います。あるいは、誰かの役に立とうと何かを始めることで、解決の糸口をつかめるのではないかと思います。

これからの時代は、自分の目と頭で考えて、求められる仕事をしなければまったく必要とされない時代です。最近印象に残ったのは、大会社を50代半ばで辞めて独立した人たちがかえって生き生きと新しい仕事をしている姿でしょうか。

話が脱線しましたが、野村会長以下、誰もポルシェには乗ってはいませんが、IMFの人たちと出会っていることでより豊かで楽しい時間を過ごしているのではないかと思います。

人は宝ですね。

子どもの世界

3年前に再婚をし、一昨年子どもが生まれました。駿といいます。子どもをみていると実に新鮮に世界を眺めていることに気がきます。家のなかはもちろん、外に散歩に出かけたりしようものなら、常に発見があり、新しい感動と喜びをもって一緒に感じられるのです。コンピュータは格好のオモチャです。

どこの子も、子どもは芸術家ですね。こんなことは言葉にすると大袈裟ですが、子どもを持つ方ならきっと感じていることでしょう。実に、子どもは予感で動く動物です。

そういえば良い絵本をつくるのが果たしていない一つの目標です。良い絵本は大人にとっても良い本であり、芸術書であり同時に哲学書でもあつたりします。

サンノゼのチルドレンズ・ディスクバリー・ミュージアムとハイテク・ミュージアムを訪ねました。アメリカの博物館は、触らせて体験することを重視して見せ方や理解のさせ方がうまい、と思います。こういうところは私の仕事ではとても役に立ちます。

自転車に乗ろう

Macintoshの広告コピーで、「自転車に乗ろう」というのがありました。知的自転車というのは、Macにぴったりの表現です。子どもの頃の自転車くらいワクワクする数少ないモノなのです。最近、写真で一目惚れでクロスバイクを買いました。

もう一つ忘れられないのが「初恋ビジネス」というもので、恋愛するようにビジネスをするというコピーがその当時の自分の気分にあてはまり気に入っていました。

実に名コピーです。

以前もこの「私のMacLife」で書いたのですが、私のMacの原点は、HyperCardであり、MacPaintだったのです。本日、WWDC2001の会場でOSX上のClassic環境でMacPaintが動くデモがあり、思わず声を出してし

まいました。

それらは、当時、時代の先端が自分の指先にありしかも(マウスで)触れることのできるすごいものでした。9インチの白黒の画面上で美しくデザインされたソフトウェアが映えていました。そこで感じたことは、「使いやすく作ることはかっこいい」ということです。価値がある作り方が存在するという事です。

それは、表面的なものではなく、プログラマが闘いながら実現していることで、これはMacのあるいはパーソナルコンピュータを支えたプログラマの文化であり、コンピュータの歴史の表には出てこないとても重要なことです。

Macintoshのソフトウェアに触れて、いつも驚くとともに日本のプログラマはとてもかっこいいと思いました。少なくとも当時、動けばいいプログラムばかりでその通りに操作しなければ動作は保証しない、というプログラムの書き方がほとんどで、ユーザ中心に設計する考え方などなかったのです。そこから、「あなたがやるべきことは、コンピュータの操作を覚えることではなく、そこであなたしかできないことだ」という考え方を提示して仕事をして、人から喜ばれたときには、また大きな手ごたえを感じました。

生活を楽しむ

ファブリックの東京事務所は、15坪のPlatzPluralという名前の共同オフィスです。仕事に対する考え方や感覚が似た人間が集まり、時に会社の仕切りをなくして仕事をしています。とあるメーカの展示会が札幌を皮切りにあり、CIデザインや企画やインテリアデザイン、音楽プロデュースをしていたメンバーがそこで顔合わせして意気投合し、それから青山のビルの一隅を共同で借りることになりました。会議スペースやミーティングスペースがあり、仕事のスタイルはそのときどきで、フレキシブルにチームを組んでいます。



事務所全体がすべて仕事の展示場となっています。仕事を楽しむことは同時に闘いの連続ですが、合間に人と会ったり近所のギャラリーを回ったりとそれ以上に楽しんでいます。

恐らく、人の価値というものがあるとすれば、持っているお金ではなく、その人の経験の豊かさや与えてくれる想像力だと思います。

まさにIMFのような人のコミュニティが続いていることやそのようなコミュニティが自分のまわりに新たに生まれていることをうれしく思います。

現在、盛岡という地方都市でどのように厳しい評価の環境をつくれるか、試行しています。その一つのアプローチが、地域の課題を継続可能な仕組みで改善していく、というものです。それは、要求された仕事を的確にこなすのとは違い、提案によってどこまで受け入れられ、また結果を出せるか、という中での仕事になります。そのような実験を「生活を楽しむ」という名前のアウスレーベン研究所という新会社で始めています。

新しい企業のモデルを模索しつつ、自分の考えや自分の生活をまた変えていくことでまた10年がんばってみたいと思います。

編集：野村



家庭でも無線LANをはじめよう

By 安倍富士男



ウェブの自動閲覧、インターネットラジオをなどです。100以上のジャンルがあるので、その日の気分でい

昨年11月に、本屋で立ち読みをしていたら、「無線LAN」の本に出会い早速試してみることにしました。

無線LAN以前

5年ほど前に勤務先の学校にLANを構築しました。10-baseTのケーブルをはりめぐらし、天井や壁にケーブルをはわせ、床にはモルディングを施して出来る限り美観を損ねないようにネットワークケーブルを張れることを1つの誇りに感じていました。またケーブルの終端加工などはまさに職人技と自負しておりました。またネットワークのハブのカスケディングも本を読んで独学して悦に入っていたものです。

自宅ではノートパソコン内蔵のモデムを利用してPPP接続していましたが、その都度モジュージャックに抜き差ししていました。

ところがみなさんも経験があるように、ケーブルというものは非常に邪魔なもので、学校ではLANカードのカプラが折れたり、ノートパソコンをちょっと動かすだけでお茶をこぼしたりと大変でした。自宅でもよく子どもが電話コードに引っかかったりして家人に怒られたりしていました。

一言で言えば、「面倒くさい」につきますのでした。いくら機動性のあるノートパソコンと言っても所詮はネットワークケーブルや電源のケーブルから自由になることはできず、逆にデスクトップ機よりも机の上がゴチャゴチャした感じに不満を持っていました。またいかに高速なインターネットが来ていても面倒くさいと使わなくなりますね。

一時、携帯電話やパソコン同士の赤外線通信も試してみたのですが、距離が数十°という弱点があり、「なにコレ?」という感じであきらめました。

無線LANを導入後

また自宅でのPPP接続にもどうもタクシーの料金がどんどん上がっていきような気がして、インターネットも殆ど急な時でしか使わなくなっていました。

ちょうど妻がインターネットを使いたいという話があったのと、フレッツISDNやCATVの常時接続が開始されたので、CATVによる128k/bpsの常時接続と家庭内無線LANを組み合わせて使用を開始しました。

これまでの使用感は「素晴らしい」の一言につきます。ギリシア神話「解き放たれたプロメテウス」のような感じです(プロメテウスは神様から火を盗んで人間界にもたらしたため、山上に鎖で縛りつけられ拷問を受けた)。2台のノートパソコンがまったくケーブルなしでインターネットやお互いパソコンにアクセスできたときは、Phone-netで2台のマックを初めて接続した時の感動に近いものを感じました。

現在、家庭内無線LANで4台のノートパソコンを接続しています。またアクセスポイント(APと略)の特性を列挙します。

- ・屋内50m 屋外100m到達
- ・Mac&Win(非公式対応)
- ・最大256台接続可
- ・転送スピード11M/bps

私の家は木造3階建てなので、APを2階のベッドルームに置くことで、1階と3階で快適にインターネットを楽しむことができます。また家の内外を問わず、天気の良い日はパラソルのある庭で、あるいは床にゴロリと横たわりながら、メールを読んだりウェブしたりしています。主な使用目的は、メールと

るんな曲を流し放しで聞いています。

また2台以上のパソコンでウェブ閲覧してもストレスなく動くので気に入っています。子どもにブラウザを触らせるときは、目の前で一緒にやらせることができます。いろいろな制限ソフトを入れるより、教えることもできるし一番いい方法ではないかと思っています。

私が使用しているカードはWi-Fi規格で11M/bpsの転送スピードです。現在100M/bpsがLANの主流ですが、特に実際の使用感では問題ありません。CATVが128k/bpsですから、そちらの方がボトルネックになっているようです。

APには、CATVとADSL両方に対応するもの購入しました。やがてADSLが普及し始めたらそちらにいつでも乗り換えられるようにしておきました。ところが、この記事を書いている間に、5月からCATVが1.5M/bpsになり月額料金が4900円に値下がりすることが発表されました。当分このままCATVを使い続けることになりそうです。APとカードの設定は、ちょっと難しいですが、マニュアル通りにやれば初心者でもできると思います。(当初マニュアルのデキがひどかったので、超長文のメールでクレームをつけたら最近改善されました。)

今月に入って無線LANカードの価格が下がったり、数?に渡るビル間無線LANも数万円で手にはいるようになりました。ぜひ皆様もこの機会に家庭内無線LANの素晴らしい世界を経験してみてもはどうでしょうか。

一度経験したら戻れなくなること請け合いです。

Feel Free!



電力線でネットワーク

Power Line Modemの最新動向



By
野村 行憲

「何処の部屋にもある電源コンセントを通信に利用できたら」というアイデアは以前からありましたが、最近この実用化に向けた動きが活発になってきています。

2002年後半に総務省が電力線通信の周波数帯を拡大するという話もあって、低価格で高速（ブロードバンド対応）の通信がケーブル工事することなく実現できる見込みが出てきました。

電力線通信の概要（電源プラグを差し込むだけでネット接続）

電力線を使ったデータ通信は、機器の電源プラグを電源コンセントに差し込むだけで、ネットワークに接続できるという簡便さが強みで、すでに、パソコンなどのメーカーが、電力線通信用モデムなどを発売しています。

この技術を使うと、家庭などでコンピュータのネットワークを構築する際に、LANのためのケーブルを布設することが必要ないので、簡単にすぐネットワークができます。

普及阻害条件の撤廃

これまで、この技術が普及しなかった理由の一つが、電波法の規制で利用できる周波数帯が制限されていたため、数10Kビット/秒程度しか高められなかったためでした。しかし総務省ではこの規制を緩和し、2002年度後半には10Mビット/秒以上の通信が可能になるよう制度改正をすすめる予定で、外郭団体である電産産業会（ARIB）に技術条件を規格として定めるよう要望しました。

ARIBではこれを受けて2001年4月中に作業部会を立ち上がり、検討に着手しています。

業界の動き

また、業界ではソフトバンクネットワークスが、建物内の電灯線を利用した通信システムを扱う新会社「エヌサイン・パワーネット株式会社（仮称）」を2001年5月に設立する

という計画で2001年4月4日、電灯線通信システム開発の英nSine社と合弁会社を設立することの基本合意に達したと発表しています。

同社の見解では「建物内に敷設されている既存の回線を利用してネットワークを構築できる規格としては、電話回線を利用した HomePNAがあり、すでに国内でも商品化されているが、これに対して電灯線通信システムは、電源と通信を1本のケーブルでまかなえるという点や、ほぼすべての部屋には電灯線が敷設されているという点でアドバンテージがある。」とのことでした。

電力線インターネット接続会社

更に、電力の送電線を利用したインターネット接続サービスをドイツの RWEパワーライン社が、今年7月からごく一部で自社グループの送電網を使ってサービスを始めます。

『パワーライン・コミュニケーション』（PLC）と呼ばれるこの技術は、RWEパワーライン社が独自に開発したもので、「社内ではすでに4年前から使っており、昨年5月からはエッセン地域（ドイツの工業地帯）の200の顧客にも試験的に利用してもらっている」とのこと。

日本で普及するか

しかし、この技術を利用したインターネット接続サービスは日本では普及が難しいと思われる。それは電力の配送方法が欧米では大容量の変圧器（トランス）を利用してトラン

ス1個あたり200程度の家庭に配送しているが、日本では小型の柱上変圧器でせいぜい数家庭の配送になっているという違いに帰因します。電力線を使用した通信の最大のネックは、通常のトランスを超えた通信ができないことで、日本で実験されているものは柱上変圧器のところで信号を取出し、そこからは光ケーブルで通信をしています。

このため、電力線によるインターネット接続サービスが実施できるためには、PLC技術で使用されているトランスが小型になり膨大な数の柱上トランスをこれに置き換える必要があるためNTTのFTTHよりコスト高になってしまいます。

家庭や小さなオフィスでの使用が可能性大ですが、問題は電力線内の膨大なノイズをどう対策するかが鍵になるでしょう。

実用化に向けて

国内では三菱電機が九州電力で実験しているものが3Mbps、日立製作所は2.4Mbpsのモデムを開発したとのこと。

また、世界的には The HomePlug Powerline Alliance (HomePlug) という団体も結成されていて松下電器産業や富士通などが加盟している。
(<http://www.homeplug.com/>)



<参考 URL>

パワーラインモデムとは？
<http://ww91.tiki.ne.jp/sisyph/jpn/proposal/airnet/power.htm>

私のPDAライフ

2年間ずっとハマってます
徳富 亘



Palmを使い始めて約2年になります。その間に随分様々な経験をしました。

その間、数台のPalmを使い潰しながらよりよい動作環境を求め、現在ではPalmVx 英語版にAtokPocketを入れて使っています。

・一番の問題は文字認識

スタイラスを強く押しつけて書けば文字認識率が上がるのですが、傷が付きやすくなります。磨けば摩耗します。1台目は、IMFの皆さんの予想通り、磨きすぎて全く文字認識しなくなっていました。(^^);

・様々な液晶保護フィルム

以来、液晶を守る必要があると感じ、2台目からは保護フィルムを使うようにしました。一般的に使われている物は、少し曇ったようになります。それを嫌って透明度の高いものを使ってみると、粘り感があって入力がスムーズにいきません。透明度が高く硬めのもので使ってみました。寒いところでは収縮するらしく、液晶面とバイメタル様の変な応力が生じるためか、剥がさない限り異常な入力になってしまうことがありました。

結局、液晶保護フィルムには決定的にこれがいいという物が無いことがわかりました。

液晶を守るための一番の方法は、

可能な限り液晶を使わないという事でした。ですから、講習会のノートなど、大量の文字を入力するような事はキーボードを使ことにしました。

・Macでカナ、Palmでローマ字

Palm用のキーボードもいくつかありますが、Palm Portable Keyboardは、小さくたためるのが便利です。しかも英語版のものは自分が使っているMacとほとんど同じキー配列です。

今では、Macに向かえば仮名入力、Palmに向かえばローマ字入力と、手と頭が自動的に切り替わります。

・英語版とAtokPocketの併用

スタイラスで文字入力する時の文字認識率のよいものを追求し、文字認識エリアの広いものに行き着きます。PalmOS機の日本語版と英語版を比べますと、「変換」・「確定」などのボタンがない分だけ、英語版の方がGraffitiエリアが広くなります。

面積上の問題ばかりでなく、日本語版では、上記のボタンを新設するために、文字認識アルゴリズムを変更しているはずで、そのあたりに不具合が多い原因がありそうです。ちなみに同じPalmVxでも、日本語版は文字認識率がBMと同程度に悪かったのですが、英語版は素晴らしく感度良好です。あまりの良さに感動し、もう1台確保したのですが、これまた素晴らしい感度でした。(^^)

・液晶の手入れはレンズクリーナー

英語版の液晶では、かる～く書いてもちゃんと文字認識されるので、傷が付きにくく、特に保護する必要を感じないくらいです。汚れた時には、カメラレンズ用クリーニングクロスで拭き取るだけで綺麗になります。

・スタイラスも選び抜こう

これも色々試してみました。現在のところ、PilotのPentopiaを愛用しています。プラスチックの部分が黒いものの方がいいようです。透明の物は材質的な問題か、亀裂が入りやすいようです。

・MacとのHotSyncをうまくやる

できるだけ浅い階層にPalmFolderを設定することで、間違いのないHotSyncができるようになりました。

色々試してみても自分ではなかなか解決できなくて、Palmのサービスセンターに電話して教えを請うところ、常識！って感じてサラッと教えてくれました。これって、もしかして友の会では常識だったりして...

m500, m505, VisorEdge等、これからドンドコ魅力いっぱいの新製品が目白押しです。Palmの世界が、益々楽しみな21世紀初頭です。

記事と編集



リサイクルしてはいけない

・武田邦彦著・読書レポート・長土居正弘



リサイクルの話は我が家でも、生活の中に定着しつつ思える昨今でしたが、何とリサイクルしてはいけないと云う・・・友人の薦めで本を読み、横浜での講演会にまで出席してしまいました。是非皆様にもご一読いただきたいと重い筆を執りました。

中身は怖い内容が書かれており、先が暗く成りました。

しかし、武田先生の講演会に出席して少し明るさを取り戻すことが出来ました。

怖い内容とは、2050年には4人に一人は餓死するという内容でした。地球は50年しか持たないと云う話は頻りに出てきますが、数値を見せられると納得出来る内容でした。

ペットボトルの例でリサイクルの矛盾を説明していました。

石油からペットボトルを製造するのに七円かかる、リサイクルしたペットボトルは二十七円かかるとのこと、三倍以上コストをかけるなら捨てた方が良いという説明です。石油をペットボトルで使い、ボトルとして使い終わったら石油の発熱量と同じペットボトルを燃料として焼却炉で燃やすという提案が有りました。現

在分別収集が進み生ゴミが燃えにくくなり、油をかけて焼却している事実も有るようです。

物質= エネルギー= コストの関係式が成り立つと考えると、コストが高いモノはエネルギーを多量に使っているということになりますので、リサイクルコストが大きくなるモノはエネルギーの使用量も多いということになります。ペットボトルをリサイクルさせるために運送に使う車やガソリンなど形が違ふエネルギーが大量に動くと言うことです。

紙のリサイクルにもふれ、紙をリサイクルすると新しい紙を使うより資源をよけいに使うという指摘もかかれていました、ペットボトルと同じ図式です。再利用が良いようです。裏まで使う、別な用途に使う、身の回りだけで使い切る事が真の資源の有効利用になるようです。太陽エネルギーを利用するなら、広い土地に太陽電池を敷き詰めるよりも、森林として利用した方が環境が良い。

こんな記述も有りました、これは従来のモノより二割も電気をくいません。買い換えた方が環境に良いです・・・省電力の家電品や燃費の良い自動車、それ自体は環境に良いのですが、「新しいモノを買うことによる環境負荷」を「省電力」や「燃費の向上」で補うことはとても難しいのです。

ではどのように生きていけば良いのでしょうか？ 武田先生は以下のように説いています。

第一原則

- 1.自分のモノを大切に使い、愛着が出るようにする。
- 2.その上で、自分の心を大切に、無駄でも捨てることを許してもらおう。
- 3.修理しやすいモノ、交換できるモノを積極的に買う。
- 4.メーカーに「新製品競争を10年ごとに」という提案を行う。

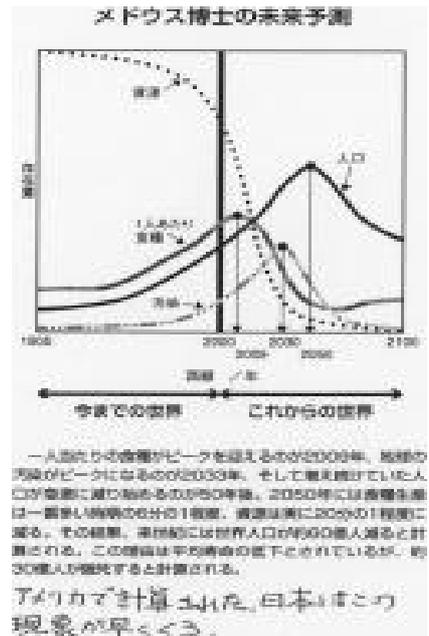
第三原則(第二原則省略)

- 1.リサイクルしない。
- 2.ゴミは分別しない。燃えるゴミ、燃えないゴミ、大型ゴミを分けない。ゴミ袋は不透明でよい。
- 3.ゴミは市町村で燃やして電力にする。

灰は人工鉱山に運搬する。

4.人工鉱山から将来、資源を取り出す精錬学を研究しておく。

メドウス博士の未来予測によれば、別図のように2050年には人口のピークを迎えます。



資源と汚染の関係図式を見ると本当にこのままではいけないと感じます。

この本に書かれている内容は、リサイクルは環境問題にも、資源問題にも解決をもたらさない、解決どころか、リサイクルすればするほど環境を汚し、資源を枯渇させると云うことです。

今机の上にあるMacを愛情を持って使い、とことん使い切る、早い機械が出て買わず、我慢をするということでしょうか？

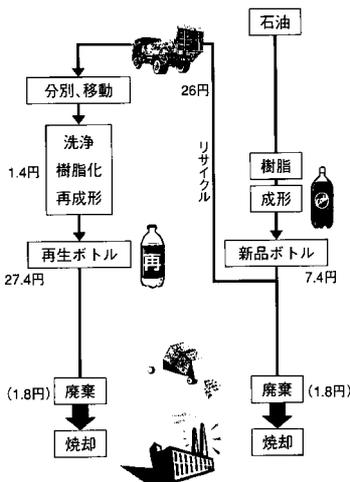
自分の欲求を満たすために、そのツケを子供や孫に回してしまっている事実を自覚する必要があるようです。孫が二人の私にとって50年後の未来は自分のことのように思えて成りません。アップルさん御免なさい、販売促進に水をさして!

環境にやさしい生活をするために『リサイクル』してはいけない

芝浦工業大学教授・前環境・情報材料センター長

青春出版社・PLAY BOOKS 860円

ペットボトルのリサイクルとそのコスト



ペットボトルは石油から作られるときのコストが約7.4円。それをリサイクルすると輸送費などの集荷に26円かかり、集荷が終わる綺麗なペットボトルから再び再生するのは1円程度しかかからないが、すでに集荷にコストがかかっているため、リサイクルボトルの価格は27円程度と新品の3倍以上になる。